

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病態治療Ⅴ感覚器(眼科)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	4 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	新館2F,3F
担 当 教 員	檀上 眞次	実務経験と その関連資格	阪大病院、近畿中央病院 眼科医師として勤務			
《科目目標》						
眼科の扱う主な疾患とその特徴や、診断、治療について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100%						
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカEX 疾病と看護⑥ 眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護④ 脳・神経機能障害/感覚機能障害						
《授業外における学習方法》						
指定された教科書を事前に予習し、授業後は復習する						
《履修に当たっての留意点》						
ものが見えるしくみを基に、そこから逸脱した状態が起こるメカニズム、検査、治療について学ぶ。眼科学を学ぶことで視覚の重要性を理解し、視覚障害を持つ対象への看護に役立てる。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼科疾患の治療に対する理解	パソコン プロジェクター		予習・復習を行い理解を深める
		各コマにおける授業予定	眼科疾患の解説、それに対する治療の現状を解説する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼科検査法、眼科疾患患者に対する看護を理解する	パソコン プロジェクター		予習・復習を行い理解を深める
		各コマにおける授業予定	最近の眼科検査法を解説する。又、眼科患者に対する具体的な看護法を説明する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				
第4回		授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				
第5回		授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				